



セチュラの風だより



2020年4月 第13号



セチュラにて夏期講習開校！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

コロナウイルスの影響で3月末日本へ帰国が出来ず落ち込み気味です。皆さんいかがお過ごしですか？

セチュラでは、毎年夏休みにスポーツ、芸術、文化の夏期講習を実施しています。私たちも、1月と2月に約30人の生徒達に週3回授業を行いました。講習に、中南米で活動する同期隊員と日本の友人が手伝いに来てくれました。彼らが、生徒達に日本の文化やそれぞれの国の活動を教えてくれた事が何より嬉しかったです。

他国同期隊員との共同授業！

1月には、中米のドミニカ共和国で活動する同期隊員(稲作開発・作業療法士)が授業を手伝いました。

生徒達に、活動の紹介や日本の遊び(フルーツバスケット)やラジオ体操を実施しました。お互いスペイン語を使い、一緒に授業が実現でき嬉しかったです。

「同期隊員との繋がり」も、協力隊の醍醐味のひとつです。活動の苦勞を労い、日本での再会を誓いました。



2月には、中米ホンジュラス、南米エクアドルとペルーの同期隊員、日本の友人が手伝いに来てくれました。

今回は、日本文化体験や活動(各国の環境教育)を紹介しました。授業中に書道の実演をしました。特に、ご褒美であげた日本のお菓子を生徒達が気に入ってくれました。

夏期講習を終え、同僚と新学期の学校選定や授業指導案作成を行いました。



夏期講習を終えて

夏期講習の期間に、セチュラ郡の26周年式典が行われました。子供達と一緒に、環境への配慮を伝える旗をリサイクルした材料から作成し、行進しました。私は、浴衣を着て行進しました。

夏期講習では、折り紙、日本文化紹介、環境教育、合同授業等を生徒達に教える事が出来ました。来年の目標は、環境保護に対する考えを養う事です。最近、環境に配慮したエコシティを考え発表する授業を行いました。

